

「プロセスケミストリーの標準モデル」WG参加者募集

平成24年5月より、(社)化学工学会 安全部会と安全工学会と共同で下記のワーキンググループ(WG)を設置して研究活動を開始することといたしました。研究にご関心がある方の参加を募集致しますので、下記要領にて申し込みください。

1. 趣旨：

工業化プロセスにおける研究開発では、目的とする製品を製造するための反応式、安全性評価、プロセス設計などの諸般の要求事項を明確にしているが、必ずしも設備設計・運転や保全が必要としているデータが取得されているわけではない。一方、研究開発で得られたデータの全てが設計・調達・建設部門に十分に伝わることはなく、また、活用しやすい形になっているとは言い難い。そのため設計・調達・建設部門では常に情報の不足が発生し、安全性や性能面において不具合が発生する傾向にある。さらに、運転や保全における要求事項が不明確であるために、研究開発でそれらデータが取得されておらず、十分な知見のないまま運用されているケースもある。したがって、研究開発からプラント設計に至る業務分析し、標準化モデルを作成することにより、プラントのライフサイクル全般に亘り安全化、効率化することが期待できる。

本WGでは、参加メンバー企業のプラント立ち上げ例を基に、効率のみならず安全性を高めるための標準モデル構築を目的とする。

活動期間は3年間とする。

2. 研究内容：

- ① 研究開発で行われる業務に蓄積されている情報と、設備設計・運転や保全が必要としている情報を対象とする。
- ② 研究開発から設計・調達・建設部門への情報伝達について具体例を挙げて、共通点、相違点を抽出する。
- ③ 相違点の取捨選択、共通点の抽象化等を踏まえて、情報伝達過程、要求される技術基準を明示化するための、標準モデルを構築する。
- ④ 小規模な例題を作り、構築したモデル上でトレースを行い、モデルの検証及び修正を加える。
- ⑤ 石油化学、合成ゴム等から、炭素繊維、電池電子材料等のファインケミカルまでの幅広い分野を研究する。

3. 世話役：

Rafael Batres (豊橋技術科学大学)

大塚 輝人 (労働安全衛生総合研究所)

池田 道弘 (三菱化学株式会社)

4. 募集要項：

募集期間：平成24年3月から4月末まで

応募資格：化学工学会安全部会員、安全工学会員とします。(現在会員で無い方は、WGメンバーとして承認されると同時に入会いただきます。)

任務：研究情報の収集、フレームワークへのアイデア提供など

特典：報告書の無料取得、メンバー外に開示されないデータ、情報へのアクセス

申込み先：安全工学会 事務局 jsse-2004@nifty.com

化学工学会安全部会事務局 井内 iuchi@techmas.co.jp